



# 促成きゅうり、移住就農者募集で産地拡大による地域活性化へ

## 現状

海部郡内・促成きゅうり産地の歴史  
昭和23年から約70年、一時100名の部会員も約40名に減少

高齢者が多く新規参入がなければ15年後産地は1/2と予測される…。

## プラス面

郡内へ30代Uターン者は、近年、幾らか存在

平均反収17.6t(H19)→23.t(H25)へ30t超5名

新規就農の1年目経営実例

低コスト自力施行ハウス12aできゅうり売上630万所得250万。栽培技術もほぼ完成しつつある。

全国きゅうり生産量:全体でH8→H23 24%減

施設生産量:H13→H23 21%減

輸入は、塩蔵を除きほとんど皆無

そこで提案

きゅうりタウン構想を策定 (H27.6.23)



# きゅうりタウン構想 ～ 促成きゅうりを核とした地方創生を目指して ～

10年後、産地面積 10.0 ha 平均反収30t/10a穫り 所得：1000万円以上(30aの場合)

## 現状

- ・ 県内一の促成キュウリ産地。
- ・ 栽培技術の高い産地（収量20t/10a以上の栽培者が半数以上,32t/10aの篤農家の存在）
- ・ 収益性に優れている（所得：690万円（30aの場合） 美波農業支援センター調べ

## 【問題点】

- ・ 担い手不足や高齢化等の要因で近年、栽培面積が減少し弱体化が進行。

## 【課題】

- ・ 新規就農者の確保・育成によるかいふ産地の再生。
- ・ 更なる栽培技術向上により若者に魅力をもたせる経営の確立。



## 10年後のめざす姿

- ・ 安定ある全国有数の産地(栽培面積10ha)
- ・ 栽培技術力の日本一(収量:30t以上/10a)
- ・ もうかるかいふきゅうり経営(所得:1000万円)
- ・ 若手就農者の増大による産地の活性化

所得400万円(15a経営)夏季2ヶ月休暇で地域に人を呼ぶ。



若者増加  
定住人口増加へ

きゅうりタウン構想実現のPHASE

経営モデル調査

研修体系システム  
の確立

次世代技術導入  
匠の技継承

移住就農者  
募集

海部地区促成キュウリ新規就農者就農事例

1 収入	金額	2 支出	金額	2-1 所得
キュウリ販売金額	6,300,000	雇用人件費	500,000	
雑収入	450,000	租税公課	70,000	
		種苗費	190,000	
		肥料費	500,000	
		農薬費	130,000	
		動力・光熱費	1,200,000	
		農具・諸材料他	1,000,000	
		減価償却費	700,000	
合計	6,750,000		4,290,000	2,460,000

設備内訳	単位	金額	合計
ハウス資材	12a	2,000,000	
暖房機資材	1式	1,300,000	
灌水資材	1式	150,000	3,450,000

ポイント

- ・新規参入の経営モデル作成
- ・作業時間等の実態調査
- ・就農した場合の具体的なキャッシュフローを提示



連携コンタクトポイント: 新規育成の事例やノウハウを持つ機関



新規参入してみようかなと思わせる作業環境改善等さらに若者を引きつける  
**次世代技術導入**

篤農家の栽培技術を解析、見える化し新規就農者へ伝授する**匠の技の継承**



例  
作業性の悪い作業環境

建ちの低いハウス  
換気効率が低い

**ポイント**

想定される分野	水耕栽培
効率的な換気方法	品種試験
燃油高騰対策技術	炭酸ガス施用等
曇天時の光合成活性	環境制御技術など
病害虫・土づくり	
作業に省力化(つり下げ作業 換気作業等)	

**ポイント**

日射量、気温、地温、CO<sub>2</sub>濃度を計測し匠の技を解析して新規就農者の換気方法、栽培管理を向上・平準化に役立たせる。

誰でも取り組める  
システム作成

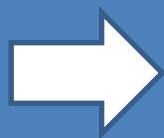
連携コンタクトポイント: 施設園芸の技術について連携希望

ポイント

- ・夏休暇2ヶ月、所得400万円(15a経営)できゅうり栽培移住就農者を全国から募集
- ・暮らしビジョンの提案ー地域の観光資源、農業経営以外の余暇時間の過ごし方



連携コンタクトポイント：移住就農者募集と一緒に取り組める機関  
現地実習、交流などへ大学農学部等教育



海部きゅうりタウンのファンを増やす！  
施設園芸について現地で学び・研究・就農へ

農学部学生の現地研究・研修へ短中期の受入

次世代施設園芸の共同研究

就農者作業遅延時の作業補完システム(サポート体制)



交流人口の増加による地域活性化へ

## まとめ

促成きゅうり栽培について、移住就農してみようかと動機づけれる  
次世代への園芸技術、 確立した研修システム、サポート体制そして  
住環境、アメニティ - を描いた受入環境を展開し、栽培者増、産地拡大を図りたい。



### 園芸メーカー

次世代への園芸技術  
全般。

### 種苗会社

今後の快適な作  
業環境のもと最  
適な品種の育成

### 大学研究機関

実証展示圃設置によ  
るきゅうり栽培全般に  
ついての共同研究交  
流。

### 移住関係メディア 旅行会社他

移住就農者募集



定住人口増加による地域の活性化



海部きゅうりの産地・規模拡大、そして地域活性化へ  
きゅうりタウン構想実現へ連携をお願いします。



ご清聴ありがとうございました。

【連絡先】

徳島県南部総合県民局産業交流部(美波)

海部プロジェクト担当

〒779-2305 徳島県海部郡美波町奥河内字弁才天  
17-1

電話(0884)74-7412 FAX(0884)74-7377

徳島は宣言する  
VS 東京



# 徳島県南部「四国の右下」



かめファミリー



23薬王寺



千年サンゴ



カヤック



豊かな自然



サーフィン



海の幸



剣山



ウミガメ



四国の東南部に位置する、海・山・川が揃う豊かな自然やこの自然が生み出す新鮮で安心・安全な食材、スキューバダイビングやカヤック・サーフィンなどのマリンスポーツが盛んな地域で、太平洋を望むこの地はまさに海を体感できる場所となっております。  
日本百名山の一つに選定された、西日本第2の高峰、剣山があります。  
「四国の右下」が織りなす、この地でしか味わうことのできない「魅力」と「感動」が詰まっています。